

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

◆7月の発行は、11日号、18日号、25日号です。

今週の紙面

- 2面 国会スポット/女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4・5面 相次ぐクマの出没、被害どうしたら?/女性 働く/ホットライン
- 6面 怖い熱中症/文化情報/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/学校とジェンダーの現在地



ナフサ不足・物価高騰深刻

暮らしを守る対策急いで

アメリカとイスラエルが始めたイラン戦争による物価高騰に加え、石油関連製品のナフサ不足で、医療・建設・農業など幅広い分野を「ナフサショック」が襲い、暮らしや営業に深刻な影響が出ています。

値上げ次つき

「買い物に行くと以前と同じ量をかごに入れて会計すると、1・5倍くらいに値段になった感覚です。生活への戦争の影響をこれほど感じたのは初めて」と話すのは、都内で家族4人で生活する清原悠未さん(50代)。

今年に入ってから、米やパンなど主食費は一昨年比で125%と家計を直撃。副食費も110%で、特に魚や乳製品、コーヒーなどの嗜好品類の値上がりや食用油の上



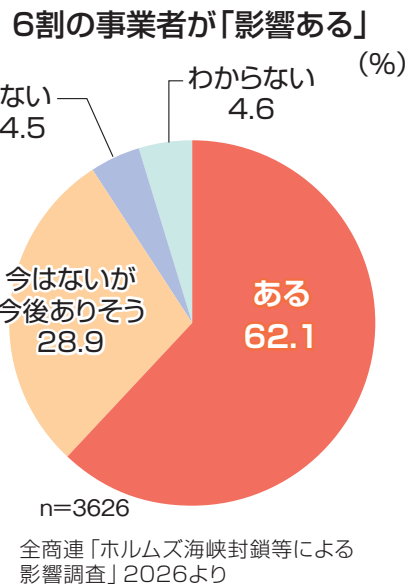
ナフサ由来のインクの供給が不安定になり、ポテトチップスのパッケージが白黒に。ケチャップの袋はトマトのイラストを減らしている

アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃とホルムズ海峡の封鎖が継続的に続き、それに伴う原油高・ナフサ不足、以前から続く物価高や円安の影響もあいまって、暮らしの不安は日に日に増しています。

資材不足に不安の声

政府は「原油は足りている」「ナフサ不足は目詰まり」と言いますが、実際には医療・介護の現場や建築現場をはじめ様々な業界で資材の調達に困難になり、関連製品の値上がりが進んでいます。

千葉・松戸市内の小売店の一部では市指定のごみ袋や使い捨て手袋が品薄になっています。ごみ袋が買えず、在宅介護で毎日大量のごみが出るのに出せずにいるなど深刻な声も。新婦人松戸



中小業者への影響も深刻

4月の物価高騰は前年5月から約5割も増加しています。(帝国データバンク)

全商連「ホルムズ海峡封鎖等による影響調査」2026より

新婦人しんぶん編集部にも、「8月に出産を控えています。点滴チューブなど医療資材は本場に大丈夫なのか不安」「糖尿治療に使うインスリンポンプのカニューレが

林俊光さんは、「仕入れ資材の価格高騰はもちろん、いまは調達そのものが困難になっています」と話します。全商連が今年3月末から全国の中小業者を対象にしたアンケート調査では、イラン攻撃とホルムズ海峡の封鎖等による影響があったという回答は全体の9割に上ります(右グラフ)。

ナフサって?

原油を精製してつくられるナフサ(粗製ガソリン)は、プラスチックや合成繊維、塗料、合成ゴムなどの原料となる。6割は輸入で、大半は中東諸国から。4割の国産も中東産の原油からつくられている。どちらもイラン戦争によるホルムズ海峡封鎖で大きな影響を受けている。

この間、アベノミクスから続く円安誘導の政策で、輸入品の価格は上がり続け事業者を直撃。そこへ化学原料として様々な製品の材料になるナフサが不足する事態になりました。

品薄になっている指定ごみ袋千葉・松戸支部

